

各 関係大学
の長 殿
関係機関

国立研究開発法人
国立精神・神経医療研究センター理事長
(公印省略)

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 心理社会研究室長の
の公募について (依頼)

当センターの運営にあたりましては、日頃より格段のご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。
さて、この度、当センター精神保健研究所では、薬物依存研究部の心理社会研究室長を公募するこ
ととなりました。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、貴学及び貴機関において意欲的で適格な方がおられま
したら、下記の書類を添えてご応募下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 職名及び人数

精神保健研究所 薬物依存研究部 心理社会研究室長 1名
(研究職・任期付年俸制職員又は副所長・部長・室長年俸制職員)

2. 職務内容

薬物依存研究部では、薬物乱用・依存及び中毒性精神障害の実態把握のための疫学研究、薬物依
存症及び中毒性精神障害に対する診断・治療法の臨床研究、乱用薬物の依存性・毒性に関する基礎
研究に取り組んでいます。

今回募集する心理社会研究室では、薬物乱用・依存及び中毒性精神障害の現状把握のための各種
疫学研究、薬物依存の発生要因に係る心理社会学的研究、及び、薬物乱用・依存の予防及びその研
修が主な職務内容となります。

心理社会研究室長は、以上のような部の研究活動の一翼を担い、疫学研究チームのリーダーとし
て、下記のような研究課題について取り組むことが求められます。

- (1) 薬物使用に関する全国の一般住民を対象とした疫学研究
- (2) 薬物使用に関する全国の青少年を対象とした疫学研究
- (3) 民間支援施設における薬物依存者を対象とした疫学研究
- (4) 薬物事犯者等の薬物依存のハイリスク層を対象とした疫学研究

3. 応募資格

下記の全ての条件を満たす方

- (1) 疫学研究チームのリーダーとして、大規模データの処理や統計解析に優れ、意欲的に研究を計画・
推進することができること。
- (2) 医師・薬剤師等の医療系の国家資格を有すること。
- (3) 医学・薬学・公衆衛生学・保健学あるいは関連分野の博士号を有すること。
- (4) 博士号取得後、5年以上の研究歴を有すること。

4. 採用予定年月日

令和4年11月1日

5. 任期

採用から5年間

6. 勤務形態及び給与並びに身分

(1) 身分：国立研究開発法人職員(常勤職員)※6ヵ月間は試用期間です。

(2) 勤務時間：裁量労働制により、週38時間45分勤務したものとみなされます。

(3) 給与等

①給与：基本給(経験年数により決定します)、地域手当、通勤手当等センター給与規程に基づき支給

②賞与：6月及び12月

③昇給：あり

④休日：土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始(12/29~1/3)

⑤休暇：年次有給休暇、リフレッシュ休暇、病気休暇、忌引等

⑥保険：共済組合(健康保険、年金)、雇用保険、労災保険加入

⑦退職手当：あり

⑧その他：宿舍入居についてはご相談下さい。

7. 提出書類

(1) 履歴書(高校卒業以降を記入して下さい。様式自由、写真添付)

(2) 業績目録

原書、総説、著書、その他に分けてまとめ、学会発表は国際学会及び国内学会での発表をまとめる。

(3) 主要論文3編の別刷(コピーでも可)を5部ずつ

(4) 現在行っている研究及び将来の研究に対する抱負

(1200字程度 A4版にて作成)

(5) 理事長あて推薦状 1通

(ただしNCNP職員の場合は必須ではない。)

8. 選考方法

書類選考並びにセミナー及び面接審査

(セミナー及び面接審査の日程については、書類選考合格者に別途ご連絡いたします。)

9. 提出締切日

令和4年7月5日必着

10. 書類送付先

〒187-8553 東京都小平市小川東町4丁目1番1号

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所長 宛

(封筒に「薬物依存研究部 心理社会研究室長応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送のこと)

11. 問合せ先

〒187-8553 東京都小平市小川東町4丁目1番1号

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター総務部研究所事務室研究所事務室長宛

電話 042-346-1942

なお、国立精神・神経医療研究センターの概要は、当センターホームページ

(<http://www.ncnp.go.jp/>) をご参照下さい。

研究内容についての応募前の問合せは、tmatsu@ncnp.go.jp 部長 松本俊彦 まで。